

農業の魅力を満喫



【五月三十一日（木）】
和寒グリーンツーリズムネットワーク協議会（中原浩一 会長）による初の農業体験事業が行われました。農業体験に訪れたのは、札幌稲陵中学校二年生（百十三人）の生徒さん。宿泊研修の一環として農業体験を実施することとなり、うち七十五名の生徒さんが、和寒町の受け入れ先の農家二十四戸で、農業体験をしました。

生徒四、五人のグループに分かれ、それぞれの農家さんで行っている農作業や農機具の使い方など、実際に畑などに入り、楽しく体験事業を行いました。

この日は、天候にも恵まれ、さわやかな風を浴びながら、黙々とトマトの苗の植え付け作業を行っていた生徒の一人は「ずっと、しゃがみながらの作業はかなりツライ。けど、普通にお店で売っているトマトがこんなふうに植えているなんて勉強になった。」と話してくれました。受け入れられた農家の方から



トマトの苗植え
中和 中森隆史さん



農機具の勉強
北原 和久 誠さん



カボチャの種植え
松岡 憐NKファームさん



田 植 え
北原 船本裕一さん

は「いつも以上のペースで作業がはかどりました。やっぱり、若い子はコツを覚えるのは早いね。明日からバイトに来てくれないかい？」と楽しい会話を交わしながら、農作業を見守っていました。

！午後四時（農業体験終了時刻）
休憩時間など挟みながら三時間の農業体験を終えた生徒さん。生徒さんの足元を見ると真新しい運動靴はうっすらと汚れており、まだ落としかけていない土がしつかりと靴底にへばりついていました。

その汚れはきつと生徒さん一人ひとりに農家さんから贈られた大切な「勳章」として、これからも忘れることのできない貴重な体験事業になったことでしょうね。

農業体験

【和寒グリーンツーリズムネットワーク協議会】とは？

農業の魅力を多くの方に知ってもらおうと和寒町の有志農家（25戸）が集まり今年4月に設立した協議会。今回同様、趣向を凝らした農業体験事業などを今後も積極的にを行い農業の魅力を幅広く伝える活動を展開していく。
（会長：松岡 中原浩一氏）

特に「家庭」は、家族の温かい人間関係を通して、子ども達が基本的な規範意識や生活習慣を学ぶ場であり、人間形成の出発点ともなるものであります。

このため、(財)北海道青少年育成協会では、平成12年7月10日に開催した「青少年の非行防止道民総ぐるみ大会」において「家庭が果たす役割の重要性を再認識するため、家族が団らんできる機会を持つ日として毎月第3日曜日を「道民家庭の日」とすることを提唱し、北海道、北海道教育委員会及び北海道警察本部とともに普及促進に取り組んでいます。



携帯サイト『道民家庭の日』
バーコード読み取り機能のある携帯電話をお持ちの方は左のコードを読み取って表示されたアドレスからアクセスできます。

『道民家庭の日』役員

会長	金児 義明 (中和) 新
副会長	(土別地区連合会副会長)
理事	川口 二郎 (西町) 新
理事	福井 幹則 (北町) 新
理事	宮武 一典 (松岡) 新
理事	小越 康雄 (日ノ出) 新
理事	藤田 房雄 (南町) 新
理事	(土別地区連合会理事)
理事	吉田 茂 (西町) 新
理事	谷口 真純 (三笠) 新
理事	(土別地区連合会理事)
理事	藤村 美穂 (三笠) 新
理事	高岡 晃正 (北町) 新
理事	半澤 義雄 (北町) 新
監事	



和寒町防犯協会新役員発表

平成十九年度から三年間、犯罪の無い明るいまちづくりを目指して活動します。

町民みなさまのご協力を、よろしく願います。(敬称略)

和寒町交通安全協会

交通事故防止に向けて平成十九年度から二年間の新体制が次のように整いました。交通安全事故防止に向けて新たな活動がスタートします。(敬称略)

会長	真鍋 紘一 (西町) 新
副会長	濱田 義昭 (西町) 新
理事	菊田 信行 (西町) 新
理事	須貝 博夫 (塩狩) 新
理事	佐々木 一 (三和) 新
理事	丹野 千鶴子 (三笠) 新
理事	酒向 勤 (東町) 新
理事	佐々木 優子 (三笠) 新
理事	鈴木 忠之 (西町) 新
理事	日下 幹則 (北町) 新
理事	山下 裕香 (松岡) 新
理事	安孫子 敏己 (日ノ出) 新
理事	渡辺 金三郎 (西町) 新
理事	岡 悟 (西町) 新
理事	土井 一光 (西町) 新
監事	